

## 平成27年度「森林の調査隊!! フォトコンテスト」

ふれあい推進センターでは、森林や里山の保全・再生を重要な活動の一つとして、写真撮影を通じて、森林や里山の現状、役割について多くの人々に伝えることを目的として、フォトコンテストを実施しています。

今年度は、「森林の調査隊!! フォトコンテスト」として「あなたが感動し、伝えたい森林（もり）での発見!」をテーマとして、組写真と想い（コメント）を募集しました。



- 趣旨 森林の持つ生物多様性機能の発揮状況や里山の再生に向けた森林整備活動、森林資源（動物、副産物を含む）の有効活用の状況、森林環境教育活動などの写真を通して、広く国民に森林への関心と理解の醸成を図ることを目的に実施。

併せて、平成28年度より新たに祝日となる「山の日（8月11日）」の普及にも取り組む。

### 2 テーマ

あなたが感動し、伝えたい森林（もり）での発見!

- ①「森林（もり）で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」
- ②「森林（もり）での体験・活動（里山整備、森林環境教育など）」

3 募集期間 平成27年4月27日～平成27年8月31日

4 審査会 平成27年9月11日 近畿中国森林管理局

応募状況 「森林（もり）で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」 28作品  
「森林（もり）での体験・活動（里山整備、森林環境教育など）」 16作品

北は北海道から西は沖縄県西表島で撮影された、写真数119枚にのぼる44組の作品の応募がありました。優秀な作品が多かったことから選考は難航しましたが、近畿中国森林管理局長賞1作品、里山賞1作品、森林の調査隊フォトコン賞3作品に審査員特別賞1作品を加えて、6作品の入賞作品を決定しました。

### 5 表彰式、発表会 平成27年10月4日

「水都おおさか森林の市」会場に入賞者を招き、多くの森林の市参加者が見守る中、入賞作品の発表会と表彰式を開催しました。「ミス日本みどりの女神」佐野加奈さんも参加され、華やかな式典となりました。

始めに、近畿中国森林管理局長から、「森林（もり）に関する優れた写真や撮られた方のコメントを通じて、広く多くの方々に森林への関心を持っていただき、理解を深めていただきたい」と挨拶。表彰式後の作品発表会では、入賞者がそれぞれの作品に込めた思いを発表し、審査員から、「組写真としてのストーリー性のある素敵な作品が集まり、レベルの高いフォトコンテストであった。これからも森林への関心を高めてもらいたい」とのお話がありました。

また、会場の参加者からは「森林についてもっと知りたいと思った」「表彰式の時間にたまたま会場前を通りかかったら、ちょうど8才の男の子の発表の時で、写真を見ながら説明を聞きその子の自然への関心、感動に思わず足を止めて聞き入った」という感想もいただきました。

- 審査員 只木 良也 氏 （農学博士・京都府立林業大学校長）  
久山 慶子 氏 （フィールドソサイエティー事務局長）  
北田 研索 氏 （(公社)日本写真家協会会員・宝塚大学特任教授）  
馬場 一洋 近畿中国森林管理局長



馬場局長挨拶

## 審査員講評

### 久山 慶子 氏（フィールドソサイエティ事務局長）



あなたが感動し、伝えたい森林（もり）での発見！」のテーマに添えて、気持ちのこもった作品ばかりでした。

暮らしを支えて余りない森林に人が為すべきこと、樹木の一途な有り様、森で命を継ぐ生き物の姿などに心を動かされました。機材が進歩して撮影は簡単になりましたが、風景を切り取る眼、追いつける気概などは容易に手にできるものではありません。だからこそ、写真に表れた強い思いが広く共感を呼ぶのでしょ

う。それは私たちが、森林での感動をもっと伝え合い、森の有り難さをもっと共有しなければならぬ時代に生きているのだと気づくことにつながります。現代特有の荒廃の断片

にひるまず、他所事とせず、生態系を保とうとする自然の力に大きな信頼を寄せて、暮らし方、地域環境への関わり方を考えていきたいと思います。人々の関心が薄れ、雑木が藪化した、植林地が放置された、こんな現状のままだと、何らかの必要が生じた将来、多くの森林が失われてしまうかもしれません。経済的な価値を超えた森の貴さを共有することは、私たちの大きな課題なのです。

惜しくも入賞を逃した作品も含めて、森林に抱くべき恩恵、畏敬、そして共感を伝え合う意義深いコンテストでした。

### 只木 良也 氏（農学博士・京都府立林業大学校長）



「自然が好き、自然を愛するだけでなく、自然を尊敬し、その摂理を現実面に活かせる人を目指したい」、これは私のモットーのようなもの。

その実現の第一歩はまず自然を知ること、そのためには、写真は有効な手段。始めは、美しさや珍しさだけが対象かも知れませんが、そのうちにその中にストーリー、論理、摂理が物語られるようになります。当コンテストで基本としている組写真は、その有効な手段だと思います。

だから、1枚の写真がいくら綺麗でもそれは賞の対象にならない。少なくとも私はそう考えています。それともう一つ。応募に当たっては、主催者が誰かということを考えてほしい、主催者は森林管理局なのです。だからいくら写真としては見事であっても、森林の

色の薄い写真、単なる綺麗な草花だとか、田畑・農村そのものの風景だけとかは、好ましくない、というのが私の審査態度で、本年も審査に臨みました。

なかなか見事な作品が集まった今年でした。その中で、異例の審査員特別賞。タガメの捕食シーンを交えたとはいえ、昆虫3枚の組写真、ところが作者はなんと御歳8歳の小学生。将来を楽しみに、本年の特別賞としました。

## 審査員講評

### 北田 研索 氏（写真家・宝塚大学特任教授）



「感動し、伝えたい森林（もり）での発見！」をテーマに、今回も北海道から沖縄に至る各地で撮影された力作 44 点のエントリーがあり、募集要項の変更で昨年よりやや少ない点数にもかかわらず逆に質の高い内容のコンテストになりました。

作者も 8 才の小学生から 85 才までの幅広い年齢層にわたり、着眼点の違いや思い入れなどの撮影意図をからも、興味をそそられる作品が多く見受けられました。

ただ、森林や里山で動植物の生態系に視点を当て、ある一つのテーマを粘り強く追われている作品などで、被写体の面白味は充分過ぎるのに、3 枚の組写真となるとトリミングや構成が上手くない物もあり大変惜しく残

念でした。

受賞作 6 点の撮影機材を見ると、デジタル一眼で撮られた 1 作品以外はコンパクトデジカメやスマホで、進化するデジタル技術の恩恵を受け、プロでもない限り自然界での活動・観察スタイルに大きなカメラは必要ないことを改めて実感しました。

表彰は局長賞以下 5 点の予定でしたが、フォトコン賞候補に挙がった 4 作は審査員評価も拮抗し甲乙付けがたく、1 作品を昨年に続き審査員特別賞として表彰することにしました。





## 審査員からひとこと

### ●近畿中国森林管理局長賞

『植えよう増やそうブナの森』 大山横手道上ブナを育成する会 前田 宗孝

鳥取県大山にブナを植える活動が 20 年以上前から続いています。毎年 10 月下旬には体験林業が行われ、それに参加する子供の姿など、人と森林の関わりを上手く表現した作品です。特に、我が子らと願いを込めて植樹する作者自身の家族写真が、ストーリーをしっかりと完結させる 1 枚になりました。

大山山麓に本来のブナ林を回復させる草の根の活動、苗を育てる風景と家族の会話が聞こえてくるような植樹後の写真とを合わせた作品に思いが伝わってきます。ブナの森の恵みが健やかに甦るよう共に願いたくなります。

育林作業に参画すること。一般市民や子供たちの参加が、最近増えています。それは、単なる個人それぞれの「労力提供」ではなく、参加する人々に真面目な「楽しみ」の対象として捉えられるとき、より効果的です。そんな香りのするこの写真 3 枚だと思いました。

---

### ●里山賞 『偶然の出会い②』 川部 由美子

作者は毎日、地元箕面公園一帯を 10 倍ズームのコンデジを手に散歩されているのではと想像しました。そんな中での、オオルリ・サル・アオサギとのまさに「偶然の出会い」。それを的確なカメラワークで、構図の素晴らしい見事な作品に仕上げられています。

オオルリの背景は広葉樹の木立、アオサギは針葉樹にとまり、ニホンザルの背後には白い花が咲いていて、何気なく里山の多様性が写し込まれています。身近な野生に目を留めることの大切さを感じさせてくれる作品です。

---

### ●審査員特別賞 『森林の虫。めっちゃ楽しい』 三木 煌太（小学生）

水辺を訪れるカマキリ、ドキドキする羽化、タガメに取り込まれていく命、小さな生き物の生々流転を写せた理由がコメントにありました。自然の生命力を求めれば応えてくれる森が在ることの大切さを教えられます。

虫大好き的小学生が、近畿各地の里山で出会った昆虫たちの自然な姿を捉えた 3 枚で、中でも大阪府能勢町で見つけた絶滅危惧種のタガメの捕食シーンは大変貴重な写真です。また、8 才の少年にもこれだけの写真が撮れるスマホの威力にも驚きます。



## 審査員からひとこと

### ●森林の調査隊!! フォトコン賞 『知床の森』 森田 章

素晴らしい天気にも恵まれた知床五湖の森林ツアーを上手く3枚にまとめています。

特に水鏡に映る残雪の知床連山は見事で、また樹木に残されたヒグマの爪痕は、人と共存する野性を感じさせています。

厳しい冬終わっての知床の短い春、穏やかな水面に映える連山の残雪と新緑。当たり前の風景写真に見えるが、この一枚、シャッターチャンス素晴らしい。緑増すミズバショウの傍らの樹皮に、つい見過ごしそうなヒグマの爪痕。これぞ知床。

### ●森林の調査隊!! フォトコン賞 『天然林の散策（根上がりの木）』 湯川 喜義

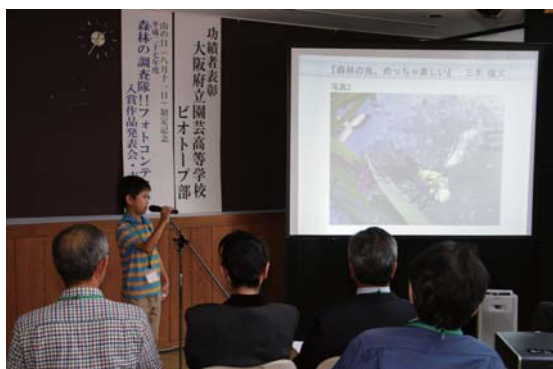
天然林にしか見られない「根上がりの木」の観察会。長野県水木沢天然林での様子を、参加者を画面に入れることで木々の強い生命力やそのスケールを表現し、写真を見る人たちに自然界の驚きと素晴らしさを伝える作品になりました。

木曾はヒノキのふる里、随所に見られる「根上がり木」はそのシンボル。専門用語で「倒木更新」「伐株（根株）更新」。枯れて倒れた木や伐り株の上に芽生えた若木が大きくなり、自分の根が土に達して成長旺盛に。土台になった倒木は腐って消滅、更新木は根上がり。

### ●森林の調査隊!! フォトコン賞 『まほうの木』 豊里 萌果（中学生）

宿泊学習で訪れた西表島仲間川のクルージングで初めて目にした太古の自然の姿。川岸に続く広大なマングローブ林や、大きな板根が特徴の魔法で出来たようなサキシマスオウノキを見た作者の驚きを感じる写真です。

熱帯・亜熱帯で発達する板根、その中でこの木の柔らかな曲線状に広がる板根は特徴的で、「まほうの木」まさにそんな感じ。国有林「巨木 100 選」にも登録。近くの海岸線を占めるのがマングローブ林で、このコンビ、亜熱帯「西表島」ならでは・・・。



平成27年度  
「森林の調査隊!! フォトコンテスト」 入賞作品一覧

 近畿中国森林 管理局長賞	【森林での体験・活動】 『植えよう増やそうブナの森』 大山横手道上ブナを育成する会 前田 宗孝（鳥取市）	9月 September
 里山賞	【森林(もり)で見つけた動植物】 『偶然の出会い②』 川部 由美子（大阪府箕面市）	4月 April
 審査員 特別賞	【森林(もり)で見つけた動植物】 『森林の虫。めっちゃ楽しい』 三木 煌太（小学生/大阪府東大阪市）	7月 July
 森林の調査隊!! フォトコン賞	【森林での体験・活動】 『知床の森』 森田 章（埼玉県川口市）	6月 June
 森林の調査隊!! フォトコン賞	【森林での体験・活動】 『天然林の散策(根上がりの木)』 湯川 喜義（長野県木曾郡木祖村）	8月 August
 森林の調査隊!! フォトコン賞	【森林(もり)で見つけた動植物】 『まほうの木』 豊里 萌果（中学生/沖縄県石垣市）	5月 May



応募作品の展示（「水都おおさか森林の市」会場：近畿中国森林管理局1階）

平成27年度森林の調査隊!! フォトコンテスト

主催：林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

後援：近畿農政局/公益社団法人日本写真家協会/特定非営利活動法人 地球緑化センター/里地ネットワーク

公益社団法人京都モデルフォレスト協会/朝日新聞社/毎日新聞社/NHK大阪放送局/大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」



【森林(もり)で見つけた動植物】

## 『偶然の出会い②』 川部 由美子 (大阪府箕面市)

(メッセージ)

写真① 箕面国定公園では、様々な野鳥を見ることができます。これは、オオルリという春に南の国から日本に渡ってきて繁殖し、秋に去っていく夏鳥です。

毎年この木のこの枝で見ることができましたが、この2・3年なかなか見れなかったのです、この日も諦めて通過しようとした瞬間、右の方からスーッと飛んでくるものが見え、まさかと思うとなんとそのオオルリでした!!

夢中で写真を撮っているとき後ろを回られた方が、“わあー、久しぶりでですね。ここで見れるの…!”でも、こういう時に限ってカメラ持ってないのよね”と言いながら目を輝かして見てらっしゃいました。

写真② 箕面といえばサルが有名ですが、今では本来の野生生活に戻れるよう、サルを自然に帰す運動が行われている為、滅多に見ることがありません。

その分、遭遇すれば驚き! → 興奮! → 緊張! です! この時は川の向こう側の木にいて、目を合わせないようにチラチラ確認しながら見ていると、木の葉をつかんで食べ、のそのそ歩き出し、そのうちまるで撮ってくれといわんばかりにポーズを決めてこちらを見られました! ラッキーな瞬間でした!

写真③ 箕面川でアオサギが優雅に飛んでいました。すると、山の方へ飛んで行き、どこまで飛んで行くのか目で追っているとき止まってくれた所がベストポジションで、まるで絵画を見ているようでした。

早朝で辺りには誰もいず、静寂した森の中、暫し息のみシャッターを押しました。



箕面の動植物

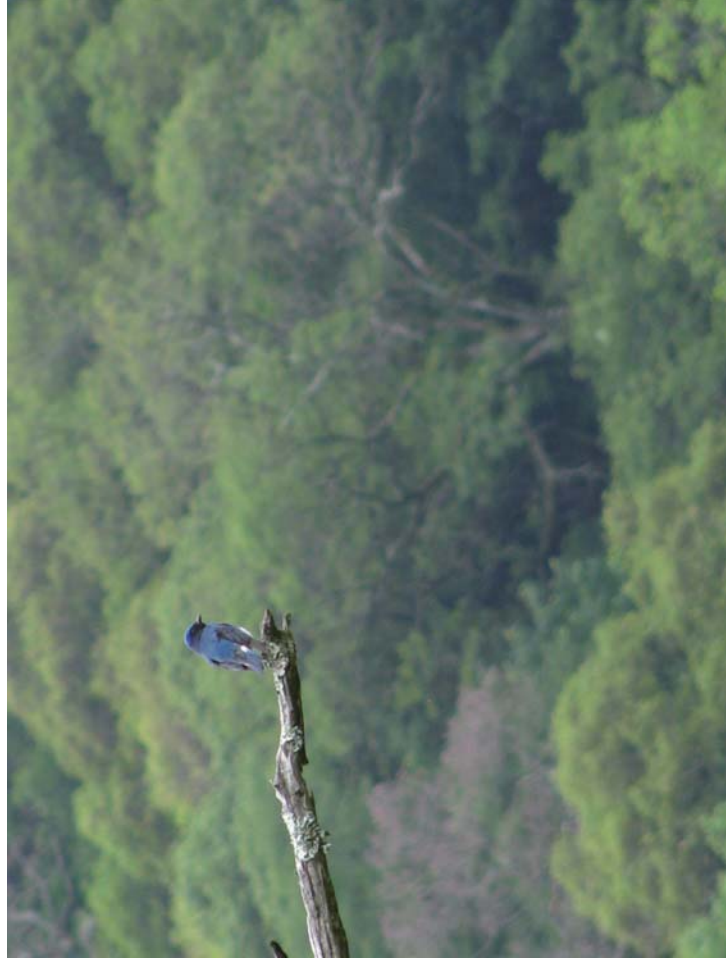
クロモジ

今回の作品のテーマ“あなたが感動し、伝えたい森林での発見!”を目にした時、沢山あり過ぎて写真を選べないと思いました。それぐらい、森林の中では人間が決して作り出せない瞬間の美しさ、出会い、感動があります。驚きの連続です。これからも身近な森林に足を運びいろいろなることに興味をもって写真を撮り続けたいと思います。

●撮影日：① H27.6.11 ② H27.4.21 ③ H27.8.17

●撮影場所：箕面山 ●撮影した動植物の名前：① オオルリ② サル③ アオサギ

●カメラ機種：Canon PowerShot SX100IS





1 金  
2 土  
3 日  
4 月  
5 火  
6 水  
7 木  
8 金  
9 土  
10 日  
11 月  
12 火  
13 水  
14 木  
15 金  
16 土

17 日

18 月

19 火

20 水

21 木

22 金

23 土

24 日

25 月

26 火

27 水

28 木

29 金  
昭和の日

30 土



写真②



写真③



5 2016  
May

1 日

2 月

3 火  
憲法記念日

4 水  
みどりの日

5 木  
こどもの日

6 金

7 土

8 日

9 月

10 火

11 水

12 木

13 金

14 土



写真①



【森林(もり)で見つけた動植物】

『まほうの木』

豊里 萌果

(中学生/沖縄県石垣市)

(メッセージ)

私の住む八重山は、自然が沢山あります。

今回のこの写真は宿泊学習でいった西表島でとった写真です。

船で仲間川をわたり、その森の上流でこの「まほうの木」に出逢いました。根っこがヒラヒラしていてまるで扇子みたい。

大きくて生き生きとして、パワー溢れる「まほうの木」。

その姿に感動した私は、思わずシャッターを押していました。

この感動を与えてくれるこの場所をこれからも守り続けていきたいです。

15日

16月

17火

18水

19木

20金

21土

22日

23月

24火

25水

26木

27金

28土

29日

30月

31火



写真②

- 撮影日： H27.5.21 ●撮影場所： 西表島（仲間川）
- 撮影した動植物の名前： ①サキシマスオウの木 ②ヒルギ（マングローブ）
- カメラ機種： Canon IXY

箕面の動植物



キイチゴの花

箕面の動植物



ボタン





【森林での体験・活動】

# 『知床の森』森田 章（埼玉県川口市）



写真①

箕面の動植物



クロバイ

# 6<sup>2016</sup> June



写真②

●撮影日：H27.6.1 ●撮影場所：知床半島

●撮影した動植物の名前：①知床連山と森

②ヒグマの爪痕が残る樹木 ③ミズバショウの群生

●カメラ機種：Canon EOS 60D



1 水  
2 木  
3 金  
4 土  
5 日  
6 月  
7 火  
8 水  
9 木  
10 金  
11 土  
12 日  
13 月  
14 火  
15 水  
16 木

17 金  
18 土  
19 日  
20 月  
21 火  
22 水  
23 木  
24 金  
25 土  
26 日  
27 月  
28 火  
29 水  
30 木



写真③

(メッセージ)

北海道を旅して知床半島の森林ツアーを体験しました。ヒグマの活動期であったためガイドの知床五湖周辺を巡るコースでしたが当日は天候に恵まれ、蚊の大群に歓迎されながらも知床の森の自然を満喫することができました。

世界自然遺産の知床では植物の育成やヒグマの生息環境を維持しながら自然を守るため、何も持ち込まない、何も持ち出さない等多くの取り組みが行われておりました。

遊歩道を歩いていると樹木に深く刻まれたヒグマの爪痕に心ときめき、樹木の害虫を補食してくれる「森のお医者さん」とも言われているキツキツの鳴き声を耳にし、湿地帯に青々と茂ったミズバショウの群生地に心を癒やされ、倒木の上に芽吹いた幼木に森の世代交代が循環していることを感じながら、木々の間から眺めた雄大な知床連山が湖に映った姿は圧巻でした。



【森林(もり)で見つけた動植物】

## 『森林の虫。めっちゃ楽しい』 三木 煌太 (小学生/大阪府東大阪市)

(メッセージ)

ぼくは虫取りが大好き。

森林は、いろんな生き物がいてぼくに力を与えてくれる場所です。

とくに水生昆虫のタガメが一番好きです。タガメをさがしていると、いろんな生き物に出会います。そして虫を見つけると、しんどいときも「シャキーン」と元気が出ます。虫を観察していると、虫にも命があるんだなあと感じます。

これはパパが教えてくれた「命の大切さ」。ぼくは森林の虫からたくさん学んで元気にすごせるようになりました。

森林の虫めっちゃ楽しいよ。元気くれてありがとう。

●撮影日：①H27.7.12 ②H27.5.17 ③H26.10.4

●撮影場所：①奈良県大和郡山市 奈良学園内 ②兵庫県佐用町 ③大阪府能勢町

●撮影した動植物の名前：①オオカマキリ (左のしよっかく短いよ)

②ギンヤンマ (もうすぐ空へはばたくよ)

③タガメ (お食事中のタガメ)

●カメラ機種：i phone

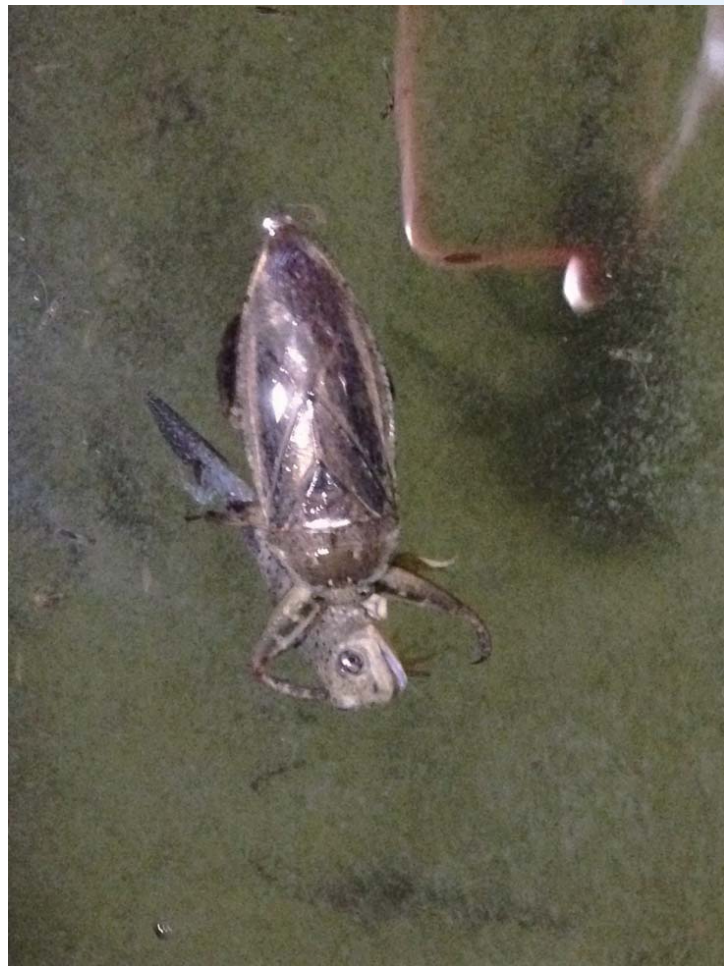
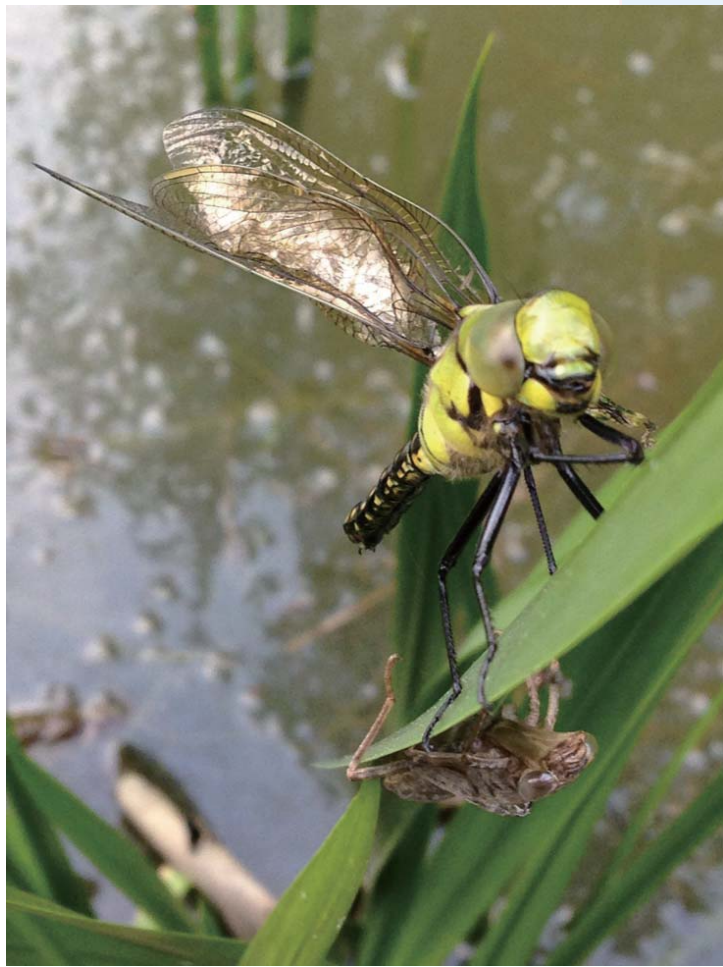


箕面の動植物

キツネノカミソリ

7 2016 July





1 金  
2 土  
3 日  
4 月  
5 火  
6 水  
7 木  
8 金  
9 土  
10 日  
11 月  
12 火  
13 水  
14 木  
15 金  
16 土

17 日  
18 月 海の日  
19 火  
20 水  
21 木  
22 金  
23 土  
24 日  
25 月  
26 火  
27 水  
28 木  
29 金  
30 土  
31 日



# 8 August

8月11日は  
山の日は

1 月

2 火

3 水

4 木

5 金

6 土

7 日

8 月

9 火

10 水

11 木 山の日

12 金

13 土

14 日



写真①

- 撮影日：①H27.7.29 ②H27.8.23
- 撮影場所：長野県木祖村 水木沢天然林
- 撮影した動植物の名前：ヒノキ
- カメラ機種：Nikon coolpix

(メッセージ)

天然林は、人工林と比べて、次のような特徴があります。

- ・樹種がまちまちである。針葉樹や広葉樹が混在している。
- ・樹齢もまちまちである。若い木や老いた木が混在している。
- ・木の生えている間隔が揃っていない。間隔が広いところや狭いところがある。
- ・『根上がりの木が見られる。』根が地面から浮き上がっている。
- ・見た感じがすっきりしていない。枝打ちをしていないことや、二股や三股の木が見られる。

中でも『根上がりの木』は、異様であり、また特徴のある形をしています。今回は、この『根上がりの木』の観察に森林へ出かけました。

まず、目に飛び込んで来たのは、二つの根で斜面で踏ん張っている木です。

「どうして、こんな姿の根になったんだろう。」  
「木の重さを良くこれで支えているなア。」  
「森林って不思議なことが多いね。」など、多くの感想が聞かれました。

次に出会った木は、『根上がりの木』の形が、苔が生えていて、何やら動物のような形をしている木です。「熊が散歩している姿だ」、「いや、ジャガーが睨みつけている形である」、「いや、象の姿で鼻を持ち上げているところだよ。」など、それぞれに違った意見が湧出しました。

森林（もり）の中を実際に歩いてみると、想像力が掻き立てられる現象が多く見られます。

森林（もり）も、一生懸命生きている姿を見てもらいたい、と考えていると思います。

もっと、森林（もり）に出かけ、ストレスに負けないパワーをもらいましょう。



15月

16火

17水

18木

19金

20土

21日

22月

23火

24水

25木

26金

27土

28日

29月

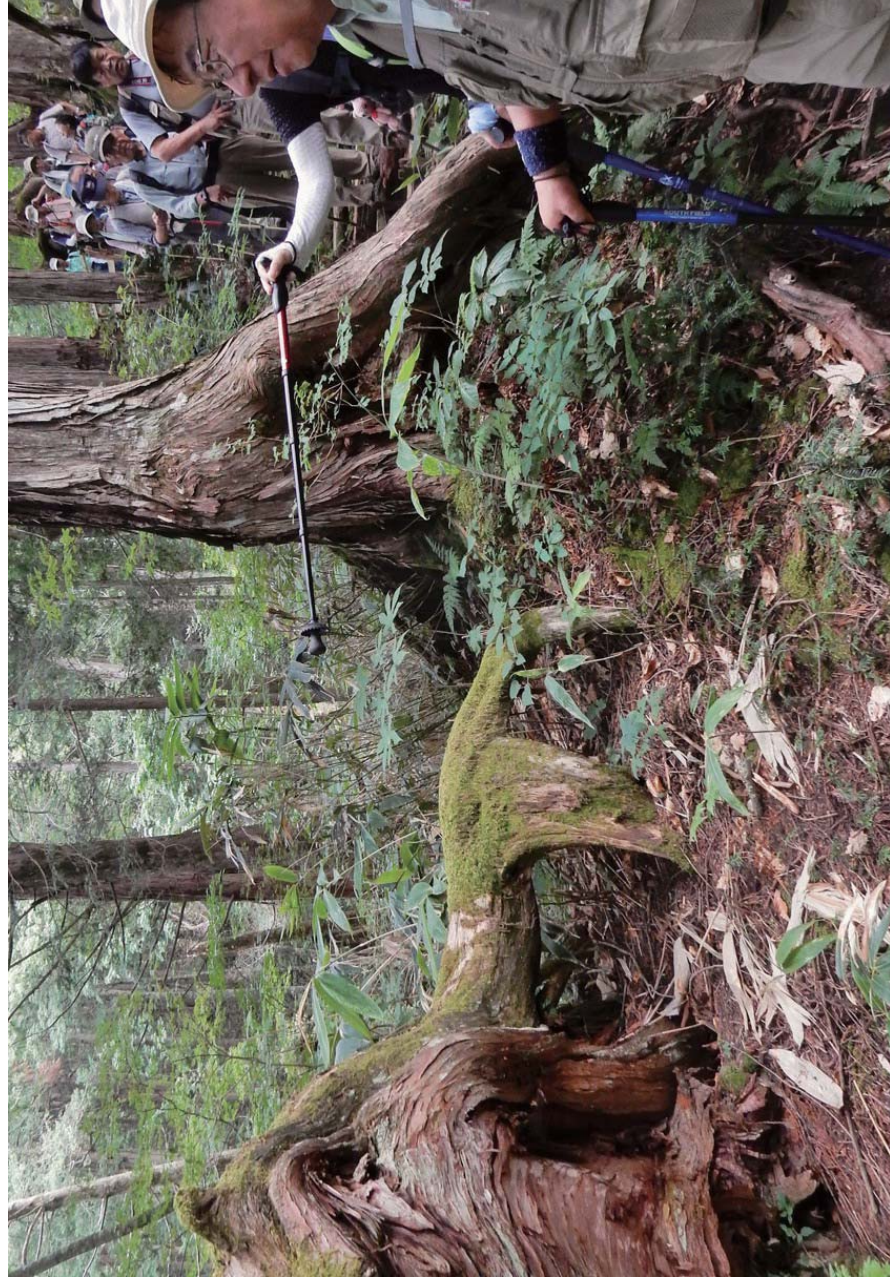
30火

31水



【森林での体験・活動】

『天然林の散策（根上りの木）』 湯川 喜義（長野県木曾郡木祖村）



写真②

箕面の動植物



タマゴダケ

箕面の動植物



サルスベリ





【森林での体験・活動】

## 『植えよう増やそうブナの森』

大山横手道上ブナを育成する会

前田 宗孝（鳥取市）

（メッセージ）

国立公園の色々な規制のある中、平成4年から大山にブナを植える活動が始まり、種を拾い、苗を育成し、5年育て、毎年10月下旬に行うブナを植える体験林業には沢山の仲間達と200本位ずつ大山に帰ってきて来ます。そうして植えたブナは2,800本になりました。

第1回目に植樹したブナは22年にもなり、生気にもブナ林の片鱗を見せてきました。経験で得た事として、夏草の2mに耐え得る苗木のノウハウは1.5m位に育ったものでなければ、厳しい環境の下では生きられません。（経験農学）

写真1の説明 苗の床替作業は親子連れが主力で頑張ります。水掛けや藁敷きになると更に子供達が一層頑張ってくれました。

写真2の説明 2m近く生長したブナ。いよいよ山に帰してやる日が来ました。「頑張れよ」と声を掛けながらの作業です。

写真3の説明 ブナを植える体験林業「誰もが1本」を合い言葉で、私達家族も4本「早く大きくなれ」と願いを込めて植えました。

●撮影日：①H26.11.16 ②③H26.10.26

●撮影場所：①②鳥取県西伯郡若町丸山 ③国立公園大山ふれあいの森

●撮影した動植物の名前：①年生ブナの苗 ②③5年生ブナの苗木

●カメラ機種：FUJIFILM FINPIX HS20EXR

箕面の動植物



ヤマボウシ

2016  
September



写真①



写真②



1 木  
2 金  
3 土  
4 日  
5 月  
6 火  
7 水  
8 木  
9 金  
10 土  
11 日  
12 月  
13 火  
14 水  
15 木  
16 金

17 土  
18 日  
19 月 敬老の日  
20 火  
21 水  
22 木 秋分の日  
23 金  
24 土  
25 日  
26 月  
27 火  
28 水  
29 木  
30 金



写真③



## 箕面森林ふれあい推進センターの取組



森の探検隊(H27.10.29)



箕面の動植物



カシワバハグマ

## 森の探検隊

「箕面体験学習の森」(エキスポ'90みのお記念の森内)では、森林環境教育のフィールドとして整備を進めています。

平成27年度は箕面市立豊川北小学校の4年生65名が、当センターのプログラム「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」は、「エキスポ'90みのお記念の森」内に設定された点在する学習ポイントを、子どもたちで選んで学習して回るプログラムで、楽しみながら森が私達のくらしに果たしている役割などを学ぶことができる森林環境教育プログラムです。

2016  
10 October



1 土

17 月

2 日

18 火

3 月

19 水

4 火

20 木

5 水

21 金

6 木

22 土

7 金

23 日

8 土

24 月

9 日

25 火

10 月

体育の日

26 水

11 火

27 木

12 水

28 金

13 木

29 土

14 金

30 日

15 土

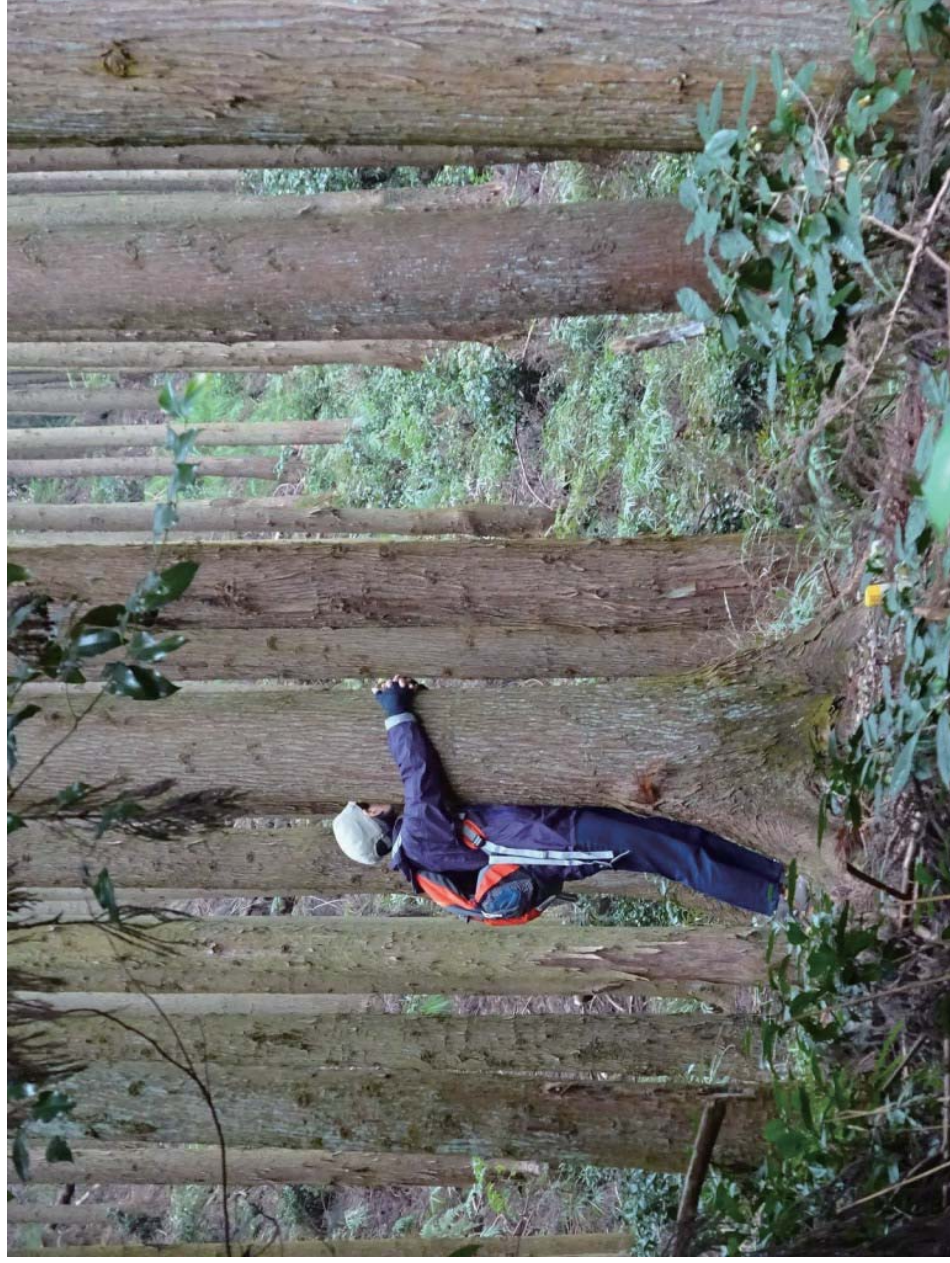
31 月

16 日





箕面森林ふれあい推進センターの取組



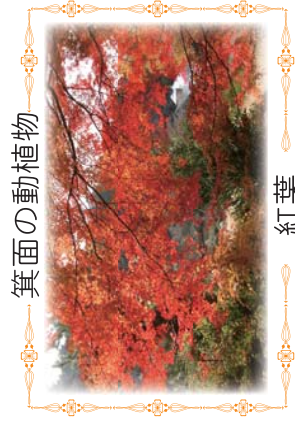
みのお森のセラピー(H27.10.22)



みのお森のセラピー

国有林をフィールドとしてイベントを実施する平成27年度森林ふれあい推進事業として、NP0法人みのお山麓保全委員会と当センターが協定を締結し、「みのお森のセラピー」を年3回開催しました。

始めに面談による体調やストレス度のコンディショニングチェックが行われ、森のセラピーアースターの案内で森林の中に向かい、森の中で寝転んで瞑想したり、倒れた木をシーソーのようにして遊んだり、森の中でゆったりと過ごすことで、普段は感じることができない、木の感触、鳥の声や水の音、香りや風など、五感で感じる癒やしの世界を体験しました。



11 2016 November



1 火  
2 水  
3 木 文化の日  
4 金  
5 土  
6 日  
7 月 勤労感謝の日  
8 火  
9 水  
10 木  
11 金  
12 土  
13 日  
14 月  
15 火  
16 水

17 木

18 金

19 土

20 日

21 月

22 火

23 水

24 木

25 金

26 土

27 日

28 月

29 火

30 水



みのお森のセラピー(H27.5.14)



## 箕面森林ふれあい推進センターの取組



森林整備活動イベント(H27.11.7)

### 各種イベント



箕面の動植物

ツルウメモドリ

- 平成27年10月18日(日)箕面市かやの広場で「みどり生き生き！みのお生き生き！体験フェア」が開催され、当センターでは、「箕面体験学習の森」、「オオクワガタの棲める森づくり」、「森林環境教育セミナー」などのパネル展示とともに、「水源の森ジオラマづくり」を多くの子供たちに体験していただきました。
- 平成27年11月7日(土)箕面市箕面滝の上流に位置する箕面国有林において、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会主催の森林整備活動のイベントがあり、アサヒビール(株)の職員とその家族が参加して植栽や刈り払い、樹木保護ネットの設置などに汗を流しました。昼食後は、芝生の広がった大きな広場で、「水源の森ジオラマづくり」と「野生動物の足あとをつくろう！」に分かれて木工を楽しみました。



水源の森ジオラマづくり

動物の足跡づくり





1 木  
2 金  
3 土  
4 日  
5 月  
6 火  
7 水  
8 木  
9 金  
10 土  
11 日  
12 月  
13 火  
14 水  
15 木  
16 金

17 土  
18 日  
19 月  
20 火  
21 水  
22 木  
23 金  
24 土  
25 日  
26 月  
27 火  
28 水  
29 木  
30 金  
31 土

天皇誕生日



箕面市民イベント「みどり生き生き！体験フェア」(H27.10.18)



## 箕面森林ふれあい推進センターの取組



平成27年度森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会(H28.1.25)



### 箕面の動植物



ニホンザル

### 平成27年度 森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会の開催

林野庁では、従来から森林の中の多様な活動を通じて、地球温暖化防止や水資源のかん養など、森林が私たちの暮らしに果たしている役割を学ぶ森林環境教育を推進しています。

また、教育現場では、生きる力を育む教育が課題となっており、ESDの視点を取り入れた環境教育の実践が求められています。

こうしたことを受けて、森林をフィールドとして各地で行われている森林環境教育について、ESDの視点でそれぞれの活動をとらえてみることも、成果を共有して今後の活動のさらなる活性化、教育現場との連携の強化、相互交流の進展に繋がるきっかけとして活動報告、意見交換会を開催しました。

# 1

2017  
January



1 日<sup>元日</sup> 火  
 2 日<sup>振替休日</sup> 水  
 3 日 木  
 4 日 金  
 5 日 土  
 6 日 日  
 7 日 月  
 8 日 火  
 9 日<sup>成人の日</sup> 水  
 10 日 木  
 11 日 金  
 12 日 土  
 13 日 日  
 14 日 月  
 15 日 火  
 16 日 水



平成27年度森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会参加者交流



近畿中国森林管理局1階「森林のギャラリー」にて【森林環境教育（森林ESD）の活動紹介】の展示



## 箕面森林ふれあい推進センターの取組



シカ被害を受けないための森林保護ネット



箕面のシカ



新型くくり罌の開発(実証試験)

### 箕面国有林における有害鳥獣個体数管理事業

箕面国有林(明治の森箕面自然休養林)が所在する箕面市地域の森林では、ニホンジカの個体数が大きく増加傾向にあり、森林生態系への影響が著しく現れてきているとともに箕面市や近隣の市町村における農業被害が問題となっています。

このような現状から平成26年度よりニホンジカとの共生を図って行くために、大阪府・箕面市・明治の森箕面自然休養林管理運営協議会と連携して、ニホンジカの個体数管理事業と防護対策及び一般市民へのニホンジカ被害の現状を知ってもらうための啓発活動を実施しています。

箕面の動植物



清水谷遠望

2017  
February  
2



1 水  
2 木  
3 金  
4 土  
5 日  
6 月  
7 火  
8 水  
9 木  
10 金  
11 土  
12 日  
13 月  
14 火  
15 水  
16 木

17 金  
18 土  
19 日  
20 月  
21 火  
22 水  
23 木  
24 金  
25 土  
26 日  
27 月  
28 火

建国記念の日



エドヒガンの苗木



森林整備体験

## 「箕面体験学習の森」整備事業 ～オオクワガタの棲める森づくり～

箕面森林ふれあい推進センターでは、大阪府箕面市内の箕面国営森林で「オオクワガタの棲(す)める森づくり」と名付けた地域の伝統的な里山再生に取り組み、そこを市民や学校の体験学習に活用しています。

また大阪府立園芸高等学校バイオトープ部にエドヒガンの苗木を育成してもらい、イベントでの植樹に活用しています。

このように、地域住民やNPO等と一体となって取り組んでいます。



## 箕面森林ふれあい推進センターの取組



平成27年度森林環境教育セミナー(H27.7.27)



京都教育大学の山下宏文教授の講義



大阪府立箕面公園昆虫館の久留飛克明館長の講義

### 箕面の動植物



キブシ

## 平成27年度森林環境教育セミナー&森の探検隊研修

当センターでは、「森林環境教育の推進」を図るため、教職員への普及啓発や森林技術指導、森林環境教育のプログラムや教材の提供などに積極的に取り組んでいきます。

教員を対象とした研修を大阪府箕面市教育委員会と共催により実施をしています。  
 「森の探検隊教員研修」ー平成27年7月24日(金)、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」と箕面ビジターセンターを使って開催。教員に森林での環境教育プログラムを体験してもらいました。

「森林環境教育セミナー」ー平成27年7月27日(月)、箕面国有林「勝尾寺園地」において間伐体験と講義を実施。箕面市内の小中学校教員で、採用2年目を対象に行いました。

2017  
 March



1 水  
2 木  
3 金  
4 土  
5 日  
6 月  
7 火  
8 水  
9 木  
10 金  
11 土  
12 日  
13 月  
14 火  
15 水  
16 木

17 金  
18 土  
19 日  
20 月  
21 火  
22 水  
23 木  
24 金  
25 土  
26 日  
27 月  
28 火  
29 水  
30 木  
31 金

春分の日



平成27年度「森の探検隊」教員研修(H27.7.24)